

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	みのり		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		～ 令和8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者、学校等関係機関との連携を密に取り、児童の姿の変化を丁寧に把握し適切な支援に繋げていく。	送迎時に必ずその日の様子、問題行動が見られた時にはなぜそのような行動が起きたと思われるのかなどを確認した上で事業所での支援を行うようにしている。	児童の姿を主観で判断せず、根拠を抑えてきちんと捉えるためデータを取る。
2	全体で活動することもあるが、小グループでの活動を大切にしている。	発達や子どもの姿に合ったグループを作り、一人一人の姿を丁寧に見たり、支援を行ったりできるようにしている。	事前打ち合わせを行い、一人一人の活動でのねらいを明確にし、個別に支援ができるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	取り組んだ活動や姿などその都度保護者に伝えているが、その取り組みがどのような力になっていくのか、将来の生活にどうつながっていくのかなどが伝え切れていない。	口頭や毎日のノートで伝えているが話す時間、書く時間が取れない。ホームページの活用も考えたが技術的なこともあり簡単ではなかった。	保護者が見やすいツールを考えていく必要がある。
2	保護者同士のつながりや情報共有できる場の設定が十分できていない。	保護者の就労や家庭の状況を考えてなかなか良い企画ができなかった。	全員が一度に参加してもらうのは難しいのでパターンをいくつか考えていく。
3			